

令和6年度 山口市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和7年5月

山口市（山口県）

○計画期間: 令和3年7月～令和9年3月(5年9月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和6年度終了時点(令和7年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は、平成19年5月に「第1期山口市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成19年5月から平成25年3月まで）」、平成26年3月に「第2期山口市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成26年4月から令和2年3月まで）」の認定を受け中心市街地の活性化に取り組んできた。この間、中心商店街の空き店舗数が減少し、中心市街地内の居住人口の維持が図られるなど、一定の効果を発現することができたものの、中心市街地におけるまちの老朽化への対応や、まちなかの持つ魅力の更なる向上など、様々な課題も浮き彫りになったことから、令和3年6月に「第3期山口市中心市街地活性化基本計画」の認定を受け、中心市街地の活性化に向けた取組を進めている。

令和6年度は、中心市街地内の空き店舗への新規開業希望者に対する支援として「あきないのまち支援事業」を実施したほか、「中心市街地開業サポートセンター事業」、「中心商店街稼ぐ力向上支援事業」「まちゼミ」など既存店舗も含めた支援事業を継続実施し、店舗の閉店があっても、短期間で新たな出店があり、一進一退の厳しい状況ではあるが、営業店舗数を維持している。

一方で、商業環境を取り巻く全国的な背景として、人口減少や少子化などに加え、電子商取引の普及率の高まり等に伴い、本市中心市街地の実店舗を訪れる顧客の行動にも影響を及ぼしていると考えられ、本市商店街の通行量も伸び悩んでいる状況となっている。

そのような中、同年1月のニューヨーク・タイムズ紙の「2024年に行くべき52カ所」への選出に続き、11月にスイス観光賞を受賞するなど、本市が国内外で大きく注目されたことを受け、来街者の増加も見込まれたことから、商店街全体で、海外からの観光客に対するおもてなし気運の高揚やホスピタリティの向上に努められた。

さらに、中心商店街を歩きたくなる空間とするための整備事業である「歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード）」では、安心安全な歩行空間とするためのアーケード内のタイル舗装が一商店街部分で完了し、従前よりも明るい印象で滑りにくく歩きやすくなり、全体の完成イメージを共有できるようになったことから、来街者も商店街関係者も今後の新規出店、来街者増加などへの波及効果に期待している。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

基準日：毎年度1月1日

(中心市街地地区)	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
人口	4,625	4,669	4,652	4,786	4,788		
人口増減数	181	44	-17	134	2		
自然増減数	-28	-36	-43	-50	-52		
社会増減数	214	83	27	184	54		
転入者数	464	367	273	481	317		

(2) 小売販売額

単位：百万円

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
市全体	-	451,761					
中心市街地	-						

※経済センサス活動調査（令和3年度）の結果が令和5年度に公開されたことを受けて、追加記載（一部）。

(3) 事業所数

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
市全体	-	8,125					
中心市街地	-	565					

※経済センサス活動調査（令和3年度）の結果が令和5年度に公開されたことを受けて、追加記載。

(4) 公示地価

単位：円/㎡

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
道場門前 2-8-21	64,000	64,000	64,000	64,400	64,900		
米屋町 3-19	85,600	84,500	84,500	83,600	82,800		

2. 令和6年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

商店街等通行量の減少は依然として続いているものの、その他の指標は比較的堅調に推移しており、計画に位置付けた事業の効果が出ていると評価する。

令和6年度は、1月のニューヨーク・タイムズ紙の「2024年に行くべき52カ所」への選出に続き、11月のスイス観光賞の受賞など、本市が国内外で大きく注目された年でもあり、商店街での外国人旅行客の見られる頻度も上がってきた中、協議会構成団体が、密接に連携を図り、来街者に対する「おもてなし」の気運醸成に努めた。

そうした中、商店街通行量の減少と新規出店数の伸び悩みも見られた。こうした状況を改善すべく、令和7年度は、国内最大級の大型観光キャンペーンであるデスティネーションキャンペーン（令和8年に開催予定）に向けて、本年10月から12月にかけて、プレDCが開催されることから、この好機を生かすような効果的な事業実施について支援していく。協議会として、活性化に関わる各主体間の連携を促進し事業効果を高めていきたい。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
求心力のある商業・業務エリアの形成	中心商店街営業店舗数	275店舗 (R2年度)	281店舗 (R8年度)	280店舗 (R6年度)	B	A	A
	中心商店街への新規出店数	83店舗 (H27～R1年度) 累計	96店舗 (R3～8年度) 累計	55店舗 (R3～6年度) 累計	—	A	A
交流と創造による来街機会の創出	商店街等通行量 (通常時の平日・休日平均)	34,700人/日 (H28～R2年度) 5年間平均	36,800人/日 (R8年度)	26,565人/日 (R6年度)	C	A	C
誰もが安心して過ごすことができるまちへの再生	中心市街地における建物更新件数	3件 (H27～R1年度) 累計	12件 (R3～8年度) 累計	10件 (R3～6年度) 累計	B	A	A

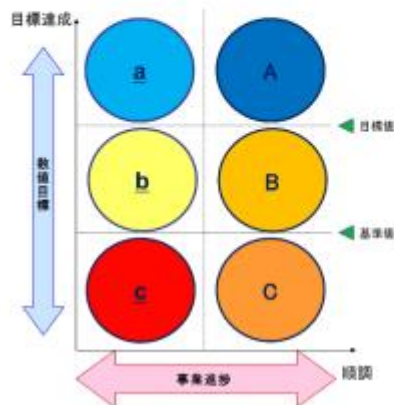
< 基準値からの改善状況 >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断 A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない ※上記について、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。（例：a、b、c）

< 目標達成に関する見通し（※2） >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
a	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
B	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
b	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
C	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調）
c	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調でない）



※目標値を現状数値の悪化率の抑制としている目標指標については、目標値と比較して数値が大きい場合には、「目標達成」、目標値には満たないものの目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より大きい場合には「基準値より改善」、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より小さい場合には「基準値より悪化」として算出する。

2. 目標達成見通しの理由

「中心商店街営業店舗数」については、既存店舗の営業力の強化支援策や新規出店に関する支援事業の拡充を図りながら継続して実施することとしており、昨年度に比して店舗数が微減したものの、十分に目標達成が見込まれる見通しとした。

「中心商店街への新規出店数」については、出店の際の店舗改装費等の支援に関する事業を継続して実施することから、目標達成が見込まれる見通しとした。

「商店街等通行量」については、計画期間中に、歩きたくなるまちなかの形成に向けた「まちなかウォークابل」の取組を進めるほか、各種事業の実施により来街機会の創出を図る中で、来街者の増加を見込んでいたが、令和6年度の通行量が前年比9%減となっており、減少に歯止めがかからない状況を鑑み、基準値及び目標値の達成は困難である見通しとした。

「中心市街地における建物更新件数」については、住宅市街地総合整備事業が進捗しており、老朽建築物等の更新が計画的に図られることから目標達成が見込まれる見通しとした。

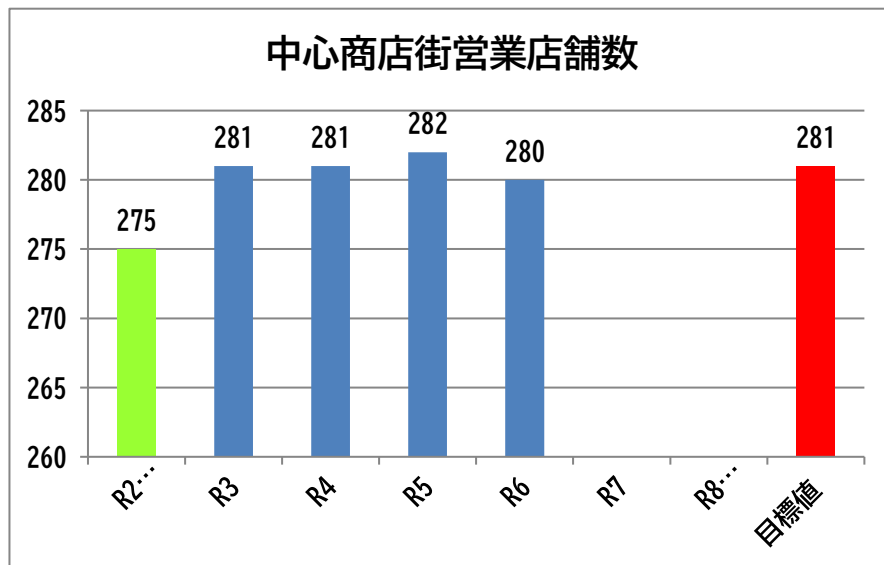
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

目標達成見通しは、「商店街等通行量」について、中活計画に定める各種事業の実施やコロナ禍の収束に伴い、通行量の減少が落ち着くことを期待していたものの、令和5年度の通行量は前年比6%減、令和6年度の通行量は前年比9%減となっており、減少に歯止めがかからない状況を鑑み、見通しを修正した。要因としては、市全体の人口減少や電子商取引の普及に伴う実店舗での買い物機会の減少等の構造的要因が考えられる。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「中心商店街営業店舗数」、「中心商店街への新規出店数」※目標設定の考え方認定
基本計画 P64～P66 参照

●調査結果と分析



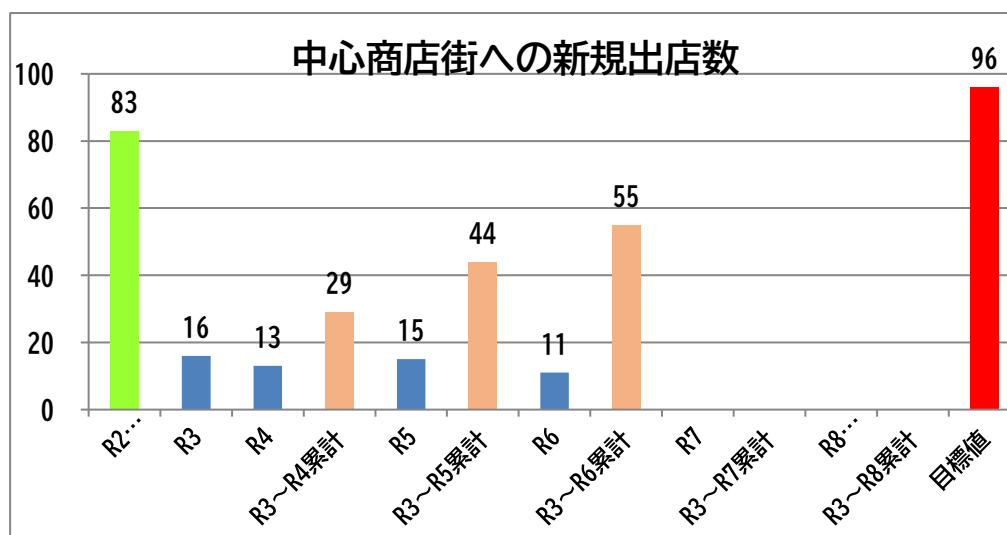
年	店舗
R2 (基準年度)	275
R3	281
R4	281
R5	282
R6	280
R7	
R8 (最終年度)	
目標値	281

※調査方法：毎年行う中心市街地の商店街等の営業店舗数調査

※調査月：10月末

※調査主体：山口市

※調査対象：山口市商店街連合会に加盟する商店街に面して立地した店舗等



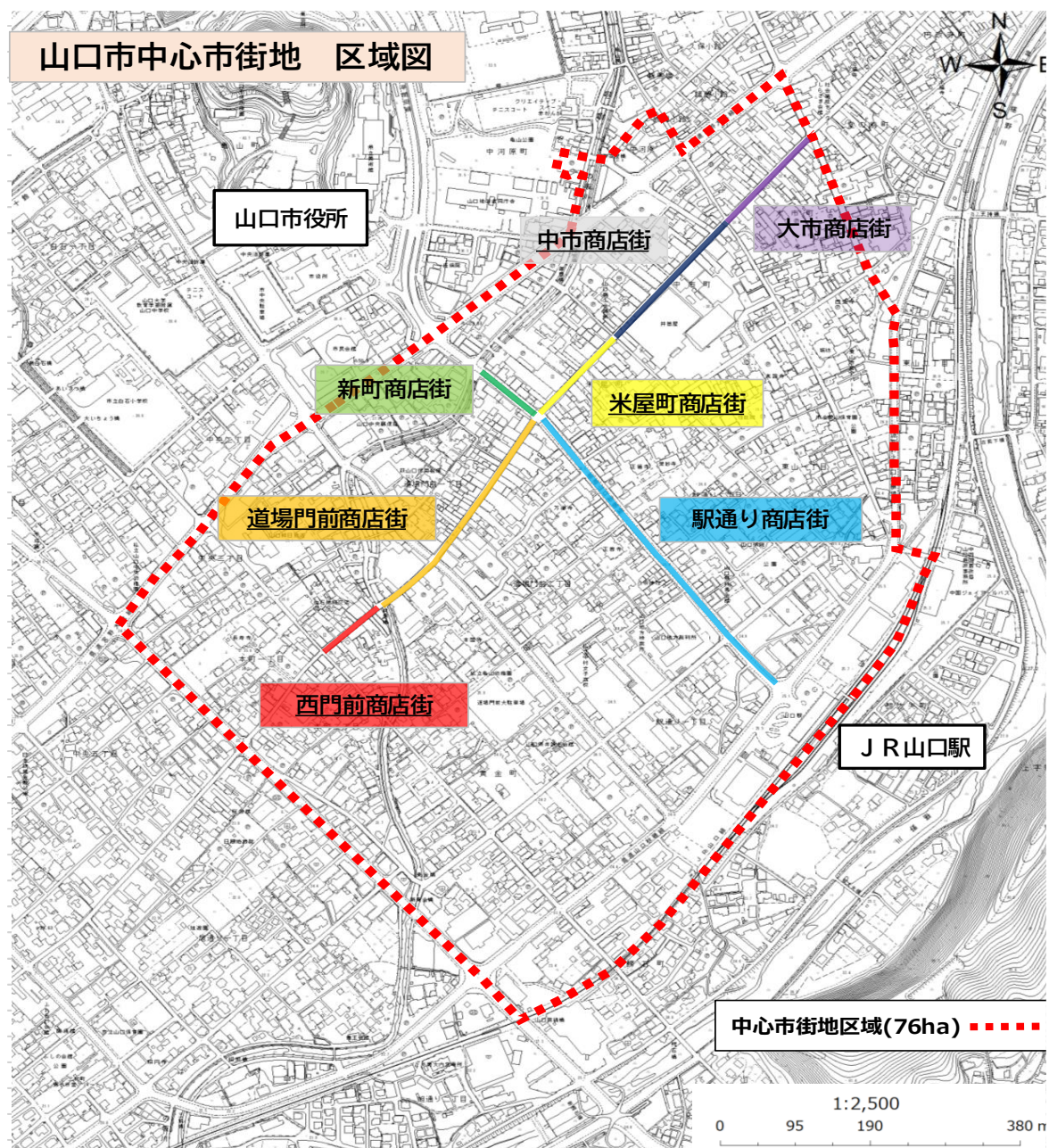
年	店舗
R2 (基準年度) H27～R1累計	83
R3	16
R4	13
R3～R4累計	29
R5	15
R3～R5累計	44
R6	11
R3～R6累計	55
R7	
R3～R7累計	
R8 (最終年度)	
R3～R8累計	
目標値	96

※調査方法：タウンマネージャーの行う中心商店街の店舗数調査

※調査月：3月末

※調査主体：山口市中心市街地活性化協議会（街づくり山口）

※調査対象：山口市商店街連合会に加盟する商店街に面して立地した店舗等



〈分析内容〉

「中心商店街営業店舗数」については、調査月となる10月末時点において280店舗となっている。

「中心商店街への新規出店数」については、「あきないのまち支援事業」ほか各種事業の実施により新たに11店舗の出店実績があったものの、出店数を超える閉退店があった。

タウンマネージャーによる空き店舗情報のワンストップ化が功を奏しており、中心商店街への出店意欲は継続しているものと考えられる。

出店業種の傾向は、飲食業のほかにサービス業が増加傾向にある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①あきないのまち支援事業

事業実施期間	平成20年度～【実施中】
事業概要	空き店舗への新規開業者に対して、出店時の店舗改修に係る費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和3年7月～令和9年3月（令和3年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均8店舗 最新値：年平均9.5店舗 令和6年度は10件の補助申請・実績があり、令和3年度から累計38件の実績があった。
事業の今後について	令和7年度以降も、あきないのまち支援事業を継続して実施し、空き店舗への出店促進を図る。

②店舗改修支援事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	（店舗取得支援事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値：新規出店数 年平均1店舗 最新値：年平均0.25店舗 令和6年度は、問い合わせや、実施に向けた協議はあったものの実績はなかった。
事業の今後について	令和7年度は、1件の物件所有者と交渉を進める予定。

店舗取得支援事業

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	商店街組合等がアーケードに面した店舗1階部分の商業床を買い取り、にぎわいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して取得費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	（店舗改修支援事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値：新規出店数 年平均1店舗 最新値：年平均0.25店舗 令和6年度は、実績がなかった。

事業の今後について	令和7年度は、店舗取得支援事業としての交渉案件は現時点ではない。
③中心商店街開業サポートセンター事業	
事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	空き店舗に関する情報の収集、発信、出店相談窓口、各種支援の案内等を一元的に集約し、開業につなぐ事業
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	（多様性あふれる商店街推進事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値：新規出店数 年平均1店舗 最新値：年平均9店舗 中心商店街等の空き店舗に関する情報をまちづくり事業者のホームページに一括掲載しており、出店に関する相談・支援も併せて受付けている。令和6年度の問い合わせ件数は19件で、そのうち11件が出店した。
事業の今後について	今後も継続して実施し、中心商店街への出店を促進し、にぎわいの創出を図る。
多様性あふれる商店街推進事業	
事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	百貨店との連携により空きスペース・空き店舗等を活用し、市内各地域の魅力ある特産品の販売や地域資源の情報発信、山口ならではの商品販売やサービス、教育的なコンテンツやアクティビティの提供等、商業活動以外も含めた様々なプレイヤーの多様な活動の展開を図る場を通年で運営する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	（中心商店街開業サポートセンター事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値：新規出店数 年平均1店舗 最新値：年平均9店舗 山口井筒屋2階に地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」を開設し、地場産品の販路開拓支援のほか、圏域内のイベント情報等の発信、地域資源を活用した体験コーナーや図書コーナーの設置など、地域の魅力発信スペース等における企画展示やイベントを実施した。
事業の今後について	今後も継続して実施し、中心商店街への出店を促進し、にぎわいの創出を図る。

④中心商店街稼働力向上支援事業

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	中心商店街全体の稼働力の向上に向けて、ＱＲコード等を利用したキャッシュレス化やスタンプカード・クーポン機能のデジタル化等スマート商店街に資する取組や、多種多様な店舗が集積している環境を最大限に生かすため事業者間連携による新しいサービスの創出、大学・地域との連携による新たな商品の開発、広域からの来街者の増加に資する取組等について、既存店舗等が負担する経費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和５年度～令和７年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	(まちゼミと合わせての事業目標値・最新値) 事業目標値：閉退店 年平均１５店舗 最新値：年平均１１.５店舗
事業の今後について	今年度も引き続き「中心商店街稼働力向上支援事業」を実施し、既存店舗の営業支援を行う。

まちゼミ

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	商店街店舗の店員が自ら講師となって、プロならではの専門知識や情報、コツを来店者に無料で教えるミニ講座を定期的に開催する。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	(中心商店街稼働力向上支援事業と合わせての事業目標値・最新値) 事業目標値：閉退店 年平均１５店舗 最新値：年平均１１.５店舗 商店街店舗の店員が自ら講師となり、新規顧客やリピーターづくりを行う本事業を２２講座開催し、１００名を超える受講者があった。
事業の今後について	今年度も引き続き「まちゼミ」を実施し、既存店舗の営業支援を行う。

●目標達成の見通し及び今後の対策

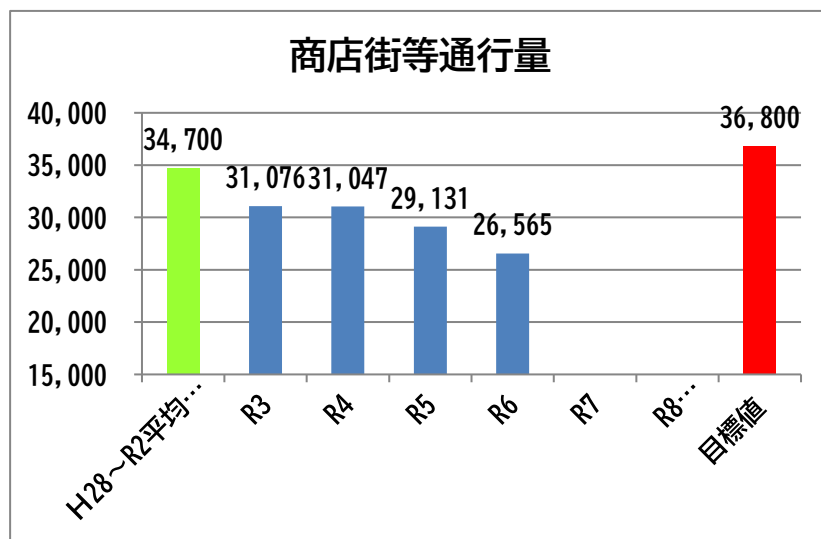
目標達成に寄与する主要事業については、それぞれ一定の効果が出ている。「中心商店街への新規出店数」については、令和６年度は少し伸び悩んだものの、新規出店に関する問い合わせ件数も多い状況となっていることから、「中心商店街営業店舗数」については、目標達成が十分に見込まれる見通しとしている。

今後については、引き続き、空き店舗への出店に係る改装費用等の支援や開業に関す

る相談窓口、新規出店に関する各種情報のワンストップ化により、空き店舗の減少に取り組むとともに、既存店舗に対する営業力強化に向けた支援策の実施により、中心商店街からの閉退店の抑制を図る取組を進める。加えて、タウンマネージャーを中心として、閉退店の情報をいち早くつかむことにより、新規出店に向けた迅速な情報提供、相談につなげる取組を進めることで、営業店舗数の維持を図る。

(2)「商店街等通行量（通常時の平日・休日平均）」※目標設定の考え方認定基本計画 P67～P71 参照

●調査結果と分析



年	人/日
H28～R2平均 (基準年度)	34,700
R3	31,076
R4	31,047
R5	29,131
R6	26,565
R7	
R8 (最終年度)	
目標値	36,800

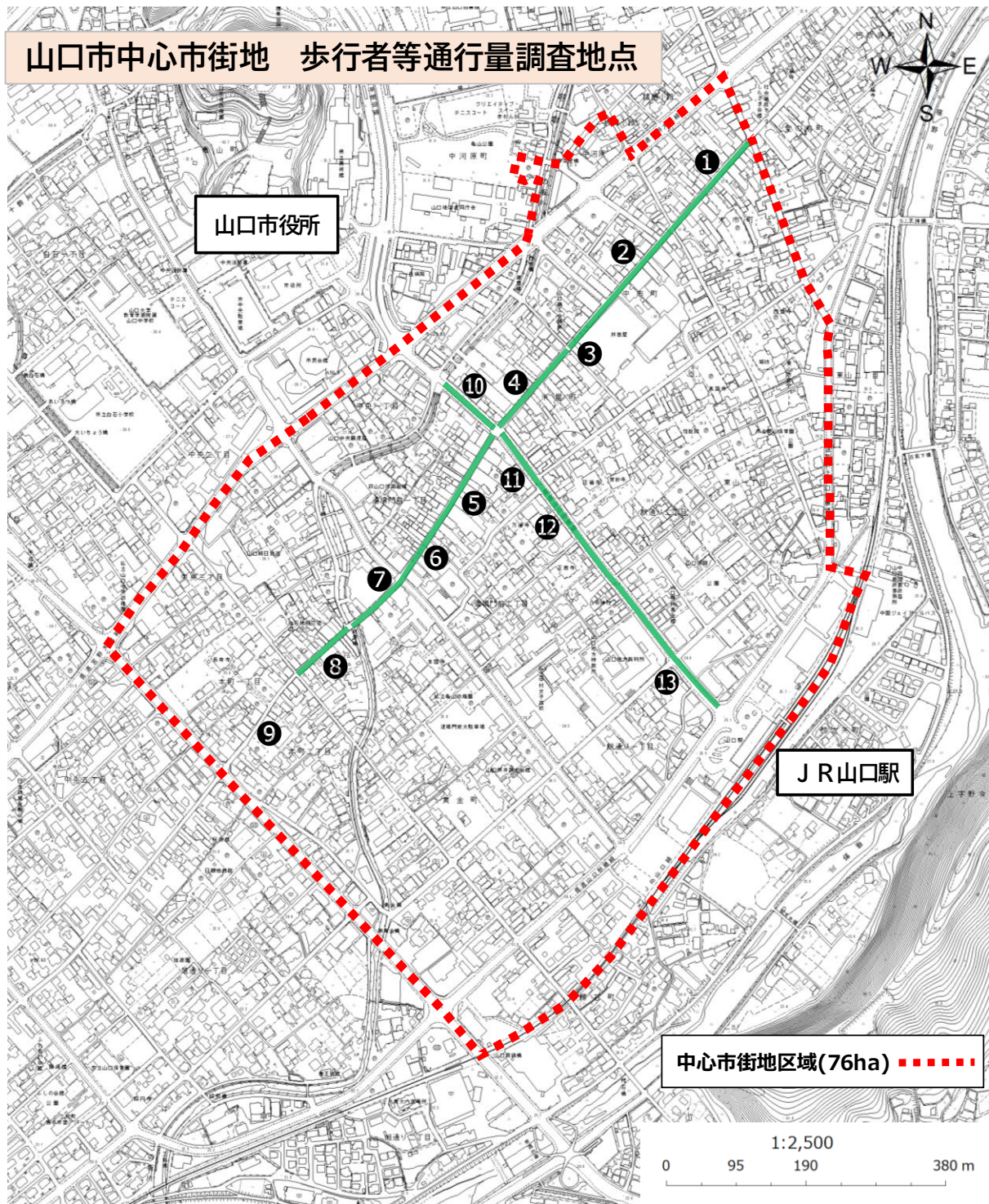
※調査方法：13地点に調査員を配置し通行量調査を実施

※調査月：10月

※調査主体：山口市（山口商工会議所へ委託）

※調査対象：中心市街地主要13地点の通行者（自転車含む）

山口市中心市街地 歩行者等通行量調査地点



調査地点別通行量比較表

調査地点	令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年		令和8年	
	10月13日	10月11日	10月12日	10月10日	10月11日	10月9日	10月10日	10月8日	10月8日	10月6日				
	火曜 晴時々曇	日曜 晴	火曜 曇時々雨	日曜 晴	火曜 晴	日曜 雨	火曜 晴	日曜 雨	火曜 雨のち晴れ	日曜 曇時々雨				
①大市・岩見屋複合店前	1,154	2,120	798	1,208	790	810	842	900	798	742				
②中市・金子染物店前	2,410	3,466	1,958	3,010	1,968	2,474	2,066	2,152	2,252	1,928				
③中市・JTB山口店前	4,544	8,588	4,202	6,588	4,240	5,780	3,580	5,070	3,548	5,128				
④米屋町・みずほ銀行山口支店前	3,850	6,756	3,582	5,588	3,598	5,174	3,500	5,044	3,208	4,354				
⑤道場門前・旧和歌山藩茶屋前	3,128	5,316	2,662	5,228	3,164	5,224	2,926	4,632	2,856	4,238				
⑥道場門前・コーヒーボーイ前	2,964	4,488	2,260	3,588	2,826	3,730	2,752	3,570	2,482	3,086				
⑦道場門前・どうもんパーク前	3,168	3,318	2,054	2,930	2,326	4,602	2,272	2,690	1,768	1,888				
⑧本町・ビューティ愛前	2,078	1,494	1,754	1,770	2,128	1,224	2,178	1,250	1,822	1,292				
⑨荒高・旧吉永時計店前	1,326	942	816	1,064	1,138	716	1,170	820	938	918				
⑩新町・ギャルソン前	1,670	1,362	1,004	1,522	1,478	1,850	1,202	1,520	1,494	1,152				
⑪駅通り・無印良品山口店前	1,918	2,792	1,186	1,788	1,290	1,238	1,498	1,640	1,442	1,676				
⑫駅通り・万徳寺前	1,472	1,558	1,242	1,642	1,438	1,162	1,402	1,516	1,144	1,137				
⑬駅通り・熟成からあげAomizu前	1,346	812	1,750	958	1,062	664	1,154	916	972	866				
	31,028	43,012	25,268	36,884	27,446	34,648	26,542	31,720	24,724	28,405	0	0	0	0

〈分析内容〉

歩行者等通行量については、昨年度と比較して、平日・休日ともに減少している。

③～⑪までの地点においては一部増加している場所もあるものの、商店街アーケードのある④～⑦までの地点では一律に減少している。これは、アーケード内において、インフラ整備の更新に係る管工事が実施されたことも、要因の一つであると思われる。

なお、平日・休日ともに、全体的な通行量の減少には市全体の人口減少や電子商取引の普及に伴う実店舗での買い物機会の減少等の構造的要因が影響していると考えられる。

しかし、アーケードと駅通りが交差する付近において、休日の通行量が増加している地点もあり、今後の事業展開の仕方によっては、さらなる増加を見込める可能性があるため、市街地全体の通行量増加までは見込めないにしても、牽引する地点を複数確保することで、少しでも目標値に近づけるようにしたい。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①新本庁舎整備事業（新本庁舎棟、市民交流棟、新本庁舎前広場、中央駐車場整備）

事業実施期間	令和3年度～令和8年度【実施中】
事業概要	「市民が集う親しみをもてる庁舎」を目指し、「新本庁舎棟」とともに、市民が多目的に利用可能な「市民交流棟」、市民の憩いの場となる「広場」及び都市計画駐車場と来街者駐車場を合築した新たな中央駐車場を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（山口市中心市街地周辺地区） 令和3年度～令和6年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 580人/日 令和6年度は新本庁舎棟の建設工事が完了。供用開始はこれからのため、実績は令和7年度から計上。
事業の今後について	令和7年度は、新本庁舎棟での供用開始。年度末までの完了を目指し、旧本庁舎棟の解体工事を進める。

②商店街の店舗対策等による効果

1) 空き店舗対策事業

あきないのまち支援事業

事業実施期間	平成20年度～【実施中】
事業概要	空き店舗への新規開業者に対して、出店時の店舗改修に係る費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和3年7月～令和9年3月（令和3年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（店舗取得支援事業、店舗改修支援事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値 270人/日 最新値 46人/日 あきないのまち支援事業では、令和6年度に10店舗の補助実績があった。
事業の今後について	令和7年度以降も、あきないのまち支援事業を継続して実施し、空き店舗への出店促進を図る。

店舗改修支援事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	（あきないのまち支援事業、店舗取得支援事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値 270人/日 最新値 46人/日 店舗改修支援事業としての実績はない。
事業の今後について	令和7年度は、1件の物件所有者と交渉を進める予定。

店舗取得支援事業等

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	商店街組合等がアーケードに面した店舗1階部分の商業床を買い取り、にぎわいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して店舗取得費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度

事業目標値・最新値 及び進捗状況	（あきないのまち支援事業、店舗改修支援事業と合わせての 事業目標値・最新値） 事業目標値 270人/日 最新値 46人/日 店舗取得支援事業でマンション1階部分に1店舗営業を 開始している。
事業の今後について	令和7年度は、店舗取得支援事業としての交渉案件は現時 点ではない。

2) 既存店舗対策

中心商店街稼働力向上支援事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	中心商店街全体の稼働力の向上に向けて、QRコード等を利用したキャッシュレス化やスタンプカード・クーポン機能のデジタル化等スマート商店街に資する取組や、多種多様な店舗が集積している環境を最大限に生かすため事業者間連携による新しいサービスの創出、大学・地域との連携による新たな商品の開発、広域からの来街者の増加に資する取組等について、既存店舗等が負担する経費の一部を助成する。
国の支援措置名及び 支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 250人/日 最新値 224人/日 令和6年度は、補助金の申請はなかったが、「稼働力」向上支援セミナーとして、先進的な取り組みを行う商店街を視察。また、大型ビジョンやデジタルサイネージを活用し、既存店舗を来街者に広くPRした。
事業の今後について	令和7年度も、対象事業に係る助成を継続する。

③歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り、商店街アーケード、大市商店街）

事業実施期間	歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り） 令和6年度～令和8年度【未実施】 歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード） 令和4年度～令和9年度【実施中】 歩きたくなるまちなか整備事業（大市商店街） 令和4年度～令和6年度【実施中】
事業概要	歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り） 道路バリアフリー化に併せた修景整備 歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード）

	アーケード内のタイル舗装を改修 歩きたくなるまちなか整備事業（大市商店街） 大市商店街の道路の修景整備
国の支援措置名及び 支援期間	都市構造再編集集中支援事業（山口市中心市街地周辺地区） 令和３年度～令和６年度
事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 ７５０人／日 最新値 １２５人／日 歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード）については、先行する商店街（米屋町商店街）のタイル舗装工事が完了し、事業効果が出始めている。
事業の今後について	商店街アーケードのタイル舗装の改修工事を継続する。

④アートでつなぐまちの活性化事業

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	アートが持つ人と人をつなぐツールとしての機能を活用して、ＹＣＡＭ作品の展示等を空き店舗・空きスペースを利活用して実施。
国の支援措置名及び 支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和３年７月～令和９年３月（令和３年度～令和８年度）
事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 １７０人／日 最新値 １７６人／日 令和６年度は、中心市街地においてアートコミュニケータの育成を行うとともに、市内外からの誘客を促すため、「架空の学校アルスコーレ」を開催した。 昨年に引き続き、「without records」と題した、空き店舗・空きスペースを活用したアート展示を行った。 また、子どもを核とした回遊性の向上を図るため、コロガル公園の知見を活用した遊び場「コロガルあそびのひゃっかてん」を山口井筒屋２階に開設した。 個々の事業の実施期間中は多くの来場者があった。
事業の今後について	ＹＣＡＭの人気コンテンツであるコロガルシリーズを継続実施するとともに、著名なアーティストをゲストに迎え、「まちなか」を巻き込むかたちでの美術展や創作ダンス等の実施により、来街者の増加を見込む。

⑤まちなかクリエイティブフィールド事業

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	商店街の空き店舗や空きスペースを有効的に活用し、子ども達が主体的に地域に関わることができる仕組みを持つ拠点を作り、商店街を盛り上げる様々な活動を展開する。

国の支援措置名及び 支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和５年度～令和７年度
事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 ２０人／日 最新値 ４０人／日 中心商店街の空き店舗に活動拠点として「VIVISTOP（ヴィヴィストップ）」を開設し、子ども達のアイデア出しやものづくりの場としての展開を行った。 令和６年度は、年間通じて「VIVISTOP YAMAGUCHI」を運営し、ワークショップ「移動式屋台をつくろう」で制作した作品を商店街の各種イベントに出展したり、子どもたちが約４ヶ月間かけて制作したロボットを用いて「VIVITA ROBOCON」（ロボコン）を開催した。
事業の今後について	令和６年度に反響を得た VIVITA ROBOCON のほか、新たに「究極のカフェ」プロジェクトを展開し、来街者の増加や、商店街の周遊につながる取組を実施する。

⑥ グランドパレス米屋町プライムマークス（分譲マンション）

事業実施期間	令和２年度～令和４年度【済】
事業概要	都市機能が集約され利便性の高い中心市街地において、魅力ある店舗付き共同住宅を供給
国の支援措置名及び 支援期間	なし
事業目標値・最新値 及び進捗状況	事業目標値 ９０人／日 最新値 ８８人／日 令和５年３月に竣工した。まだ未入居の部屋があり、販売継続中。
事業の今後について	今後も分譲マンションへの入居により、居住人口の増加が見込まれる。

● 目標達成の見通し及び今後の対策

目標達成に必要な事業は順調に進んでいるものの、コロナ禍後の社会状況として、遠出を控えて市内で買い物していた方々が、市外・県外へ買い物に出かける機会が増えたことや、コロナ禍に加速した電子商取引の普及による実店舗での買い物機会の減少、山口市全体の人口減少等により、商店街の通行量は今後も構造的に減少への圧力がかかり続けることが予想される。

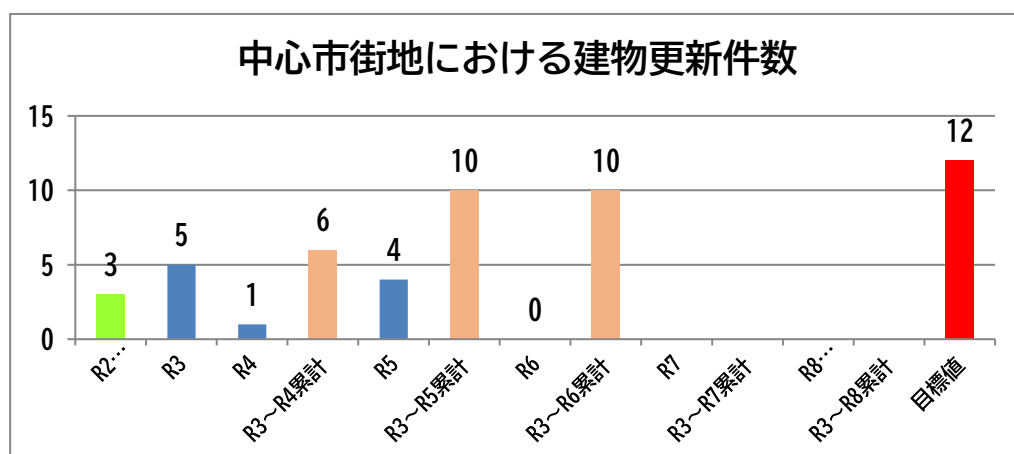
そうした中、昨年は、１月のニューヨーク・タイムズ紙の選出に続き、１１月のスイス観光賞の受賞など、本市が国内外で大きく注目された年であり、外国人旅行客の姿も頻繁に見かけるようになった。また、市全体の人口は減少傾向にある中、中心市街地の人口は増加しており、アーケードに面したマンションの入居者も徐々に増えてきているなど、少しずつ追い風も吹いてきている。令和７年度は、新市発足から２０年という節目を迎

える中で、県都の顔としてふさわしい、にぎわいのある都市空間の形成に向け、目標達成に必要な各種事業の継続実施に臨む。特に、令和８年に開催予定の国内最大級の大型観光キャンペーンであるデスティネーションキャンペーン（ＤＣ）に向けて、本年１０月から１２月にかけて、プレＤＣが開催されることから、同時期に実施予定の「アートでつなぐまちの活性化事業」における商店街での新たな盆踊りの披露や「まちなかクリエイティブフィールド事業」における究極のカフェプロジェクトなどについて、プレＤＣとの連携を意識して実施していくことで、相乗効果による目標値の達成を目指す。

（３）「中心市街地における建物更新件数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P72～P74 参照

●調査結果と分析



年	件
R2 (基準年度) H27～R1累計	3
R3	5
R4	1
R3～R4累計	6
R5	4
R3～R5累計	10
R6	0
R3～R6累計	10
R7	
R3～R7累計	
R8 (最終年度)	
R3～R8累計	
目標値	12

※調査方法：現地調査

※調査月：３月末

※調査主体：山口市

※調査対象：中心市街地の老朽建築物

〈分析内容〉

「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」の善福寺地藏通り線及び相物小路・銭湯小路線については、やや停滞気味ではあるものの確実に進捗している。拡幅工事に伴う住宅等の建築物の除却が進み、狹隘道路が拡幅され、交差点の視距も改良され安全安心なまちづくりが進んだ。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①山口駅前地区住宅市街地総合整備事業

事業実施期間	平成25年度～令和7年度
事業概要	密集市街地における老朽建築物の除却・建替え等を、善福寺地蔵通り線、相物小路・銭湯小路線において実施する。
国の支援措置名及び支援期間	防災・安全交付金（住宅市街地総合整備事業） 平成30年度～令和5年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 6件 最新値 7件 令和6年度は、除却の実績なし。
事業の今後について	善福寺地蔵通り線の道路拡幅工事を実施。

②店舗改修支援事業【再掲】

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金 令和5年度～令和7年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	（店舗取得支援事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値：新規出店数 年平均1件 最新値：年平均0.25件 令和6年度は、問い合わせや、実施に向けた協議はあったものの実績はなかった。
事業の今後について	令和7年度は、1件の物件所有者と交渉を進める予定。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」は、令和6年度に実績はなかったが、着実に進捗しており、老朽建築物等の除却により安全安心なまちづくりが図られる見込み。善福寺地蔵通り線において、交渉が難航している箇所が一部あるものの、合意に向けて事業を実施していく。

「店舗改修支援事業」についても、令和6年度に実績はなかったが、事業化に向けた調整は継続しており、令和7年度は1件の事業を進める予定。実現すれば、商店街の主要地点の大型空き店舗が解消され、商店街全体の雰囲気への牽引が期待される。